

2017年5月16日

長生人壽保險有限公司

日本エマージェンシーアシスタンス株式会社

訪日中国人向け医療保険サービスの提供について

日本エマージェンシーアシスタンス株式会社（社長：吉田 一正、以下「E A J」）は日本生命グループの中国保険法人である長生人壽保險有限公司（社長：瀋逸波、以下「長生人壽」）が『がん（悪性新生物）の治療に際し日本での治療を希望する中国人のお客様に対して、治療に伴う様々な費用の保障を目的として開発した新商品「長生彩虹橋国際医療保険」及び「長生団体彩虹橋国際医療保険」』に付帯サービスのサポートを提供することとなりましたので、お知らせいたします。なお、日本国外居住者を対象に、日本でのがん治療保障に特化した商品は、中国保険業界初となります。

（平成 29 年 4 月現在 当社調べ）

日本政府のインバウンド戦略の推進を背景に、2003 年のビジット・ジャパン事業の開始以降、訪日客は着実に増加しており、2016 年度は、過去最高の 2,482 万名^{*1}を記録いたしました。とりわけ、中国からの訪日客は、655 万人（18.2%増）^{*1}と国・地域別で首位となっており、引き続き高い伸び率で推移しております。

※1 日本政府観光局（J N T O）発表推計値（2017 年 4 月 19 日発表）

中国では近年、主要な死因となる疾患として、がんの割合が高まっておりますが、医療インフラの整備の遅れ等に起因し、がん発見 5 年後の生存率が 30.9%^{*2}と、日本の 69.4%^{*3}と比較して、相対的に低位にとどまっている一方で、公的な医療保険制度や民間の医療保険をはじめとする社会インフラが十分に整っていない状況にあります。

※2 【出典】「中国肿瘤登记工作指导手册（2016）」

※3 【出典】国立がん研究センター「全がん協加盟がん専門診療施設の診断治療症例について 5 年生存率、10 年生存率
データ更新」

提携パートナーである長生人壽は、中国人の日本における「コト消費」に対する関心の高まりに加えて、信頼性の高い先進治療に対するニーズが高まっていると考え、今般、治療に伴う医療費のほか、訪日前及び滞在中に効力を発揮する様々なサービスを付帯した訪日医療保険を開発するに至っております。

当該商品は、3つのプラン（最高 100 万円、約 1,700 万円）から選択できる保障機能のほか、E A J との提携の下、以下のサービスを提供いたします。

- 特長① 日本全国で提携する約 1,000 の医療機関から症状に合わせた優良病院を紹介
- 特長② 「支払保証サービス」の活用によるキャッシュレス治療の実現
- 特長③ 医療ビザ申請や航空券・ホテルの手配等、訪日前準備のサポート
- 特長④ 医療通訳や 24 時間の生活サポート等、日本滞在中のサポート

「世界最先端の健康立国」を掲げ、医療分野のインバウンドを推進させる日本と医療を中心とする社会保障インフラの整備を進める中国、両国の社会的期待に当該商品の提供を通じて両社は貢献してまいります。

なお、当該サービスの提供による当社業績に与える影響は現時点では軽微と認識しております。

長生人寿保險有限公司について

中華人民共和国上海市に本社を置く、日本生命保険相互会社（日本）と、中国政府全額出資の金融資産会社である中国長城資産管理股份有限公司（中国）の合弁生命保険会社です。同社は、開業以来、成長著しい中国の生命保険市場において、長江デルタ地域（上海市・浙江省・江蘇省）に加え、華北地域（北京市）及び華西地域（成都市）にて、事業基盤を築き上げてまいりました。設立以来一貫して「最も信頼される保険会社」を目標として掲げ、常にお客様の利益を最優先に考え、安心と満足をお届けすることを目指しております。

日本エマージェンシーアシスタンス株式会社について

「アシスタンスでお客様の世界を広げる」ことをミッションとし、国内外での医療機関手配・緊急医療搬送等の医療アシスタンスサービス及びカード会社会員向けコンシェルジュサービスを提供する企業です。そして同ミッションのもと、外国人に日本の高度医療を紹介するインバウンド事業や日本の高度医療輸出のアレンジやコンサルティング事業など

「日本の医療の国際展開」を支援する活動にも力を入れております。

詳細はホームページをご覧ください。 <https://emergency.co.jp/>

本件に関するお問合せ先

日本エマージェンシーアシスタンス株式会社

管理部 IR室

電話：03-3811-8121

長生人寿保險有限公司

団体保険一部

電話：+86-21-3899-9503

以上